# 知多半島総合医療機構の現状

地方独立行政法人
知多半島総合医療機構

# 1．経営統合の効果



## ■総合医療センター

（1）平均在院日数の短縮

（2）入院診療単価の上昇

（3）病床稼働率の増

（4）新規入院患者数の増

## ■りんくう病院

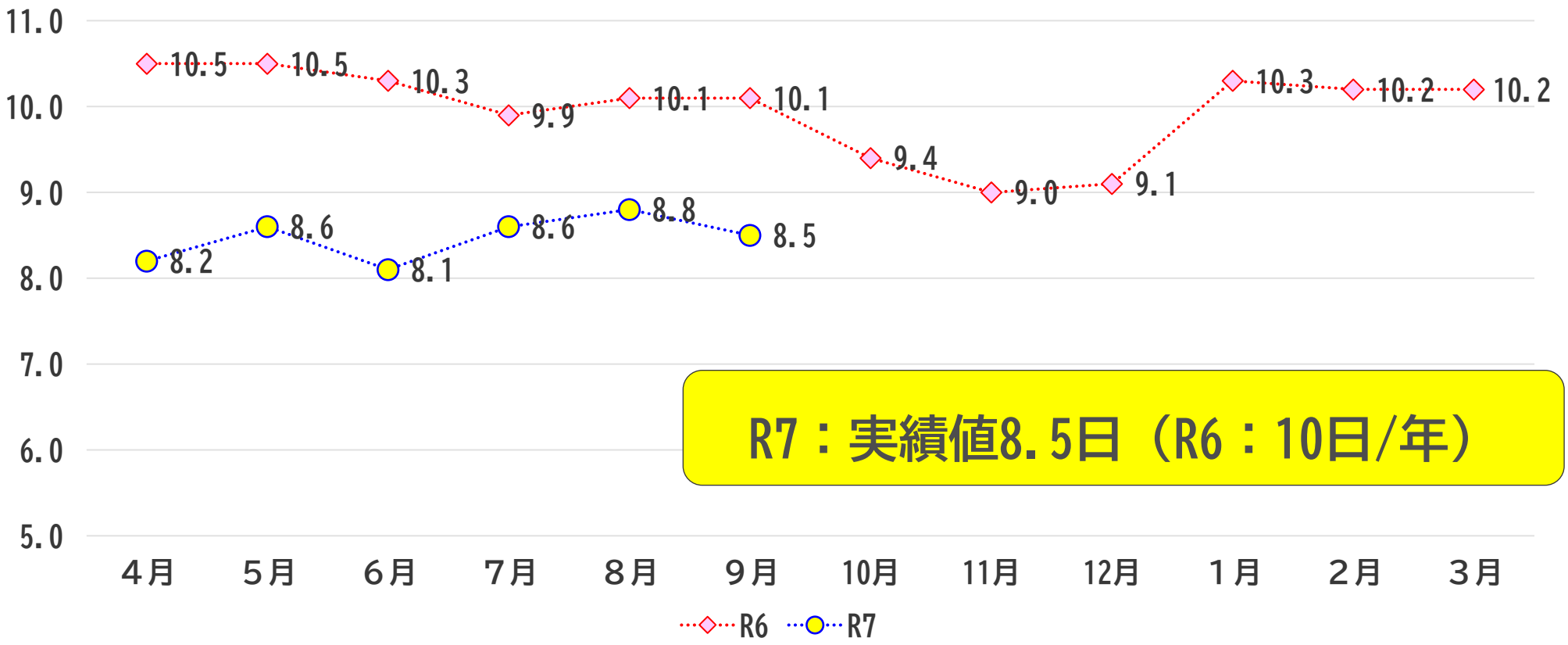
（5）急性期の稼働率向上

（6）回復期の稼働率向上

（7）地ケアの稼働率向上

# （１）センターの平均在院日数

地方独立行政法人
知多半島総合医療機構



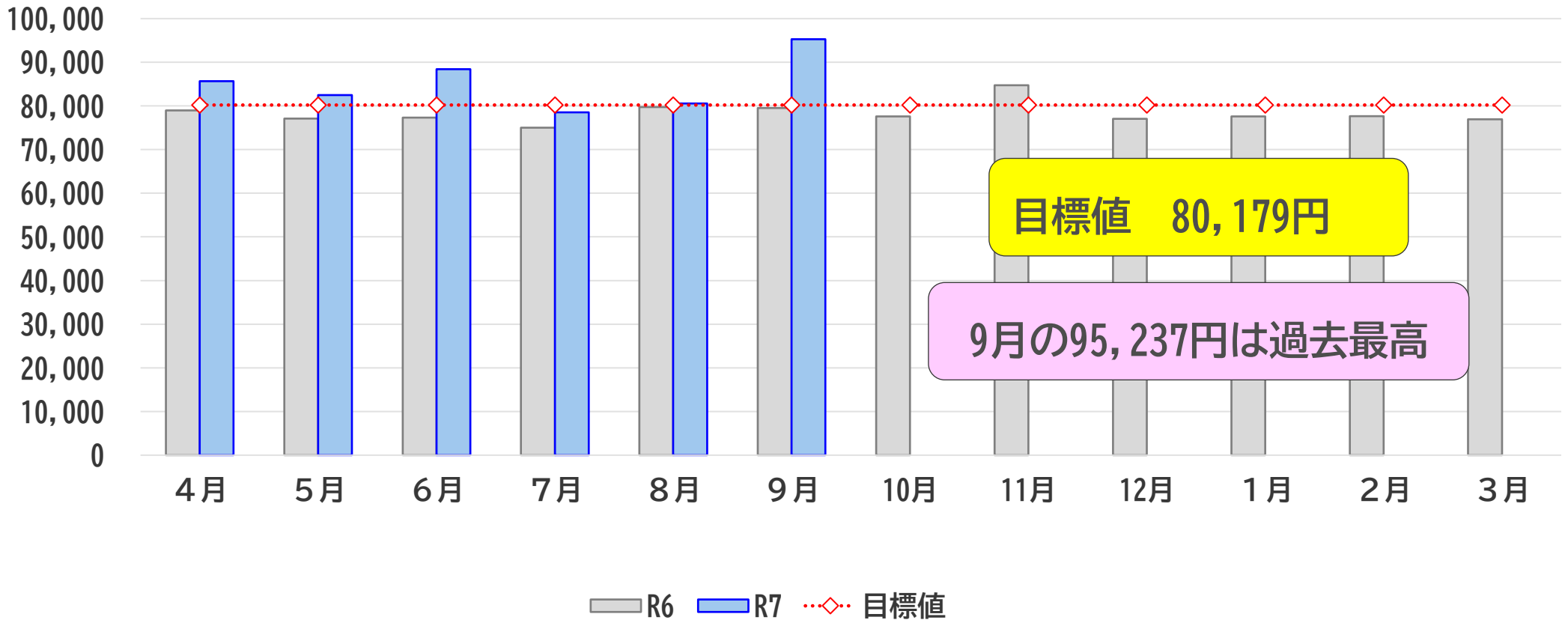

R7：実績値8.5日（R6：10日/年）

## 機能分担と連携の効果

急性期→回復期の転院がスピードアップ＆マッチング搬送の推進

# （２）センターの入院診療単価






・平均在院日数の短縮や診療単価の高い患者増により大幅に増加

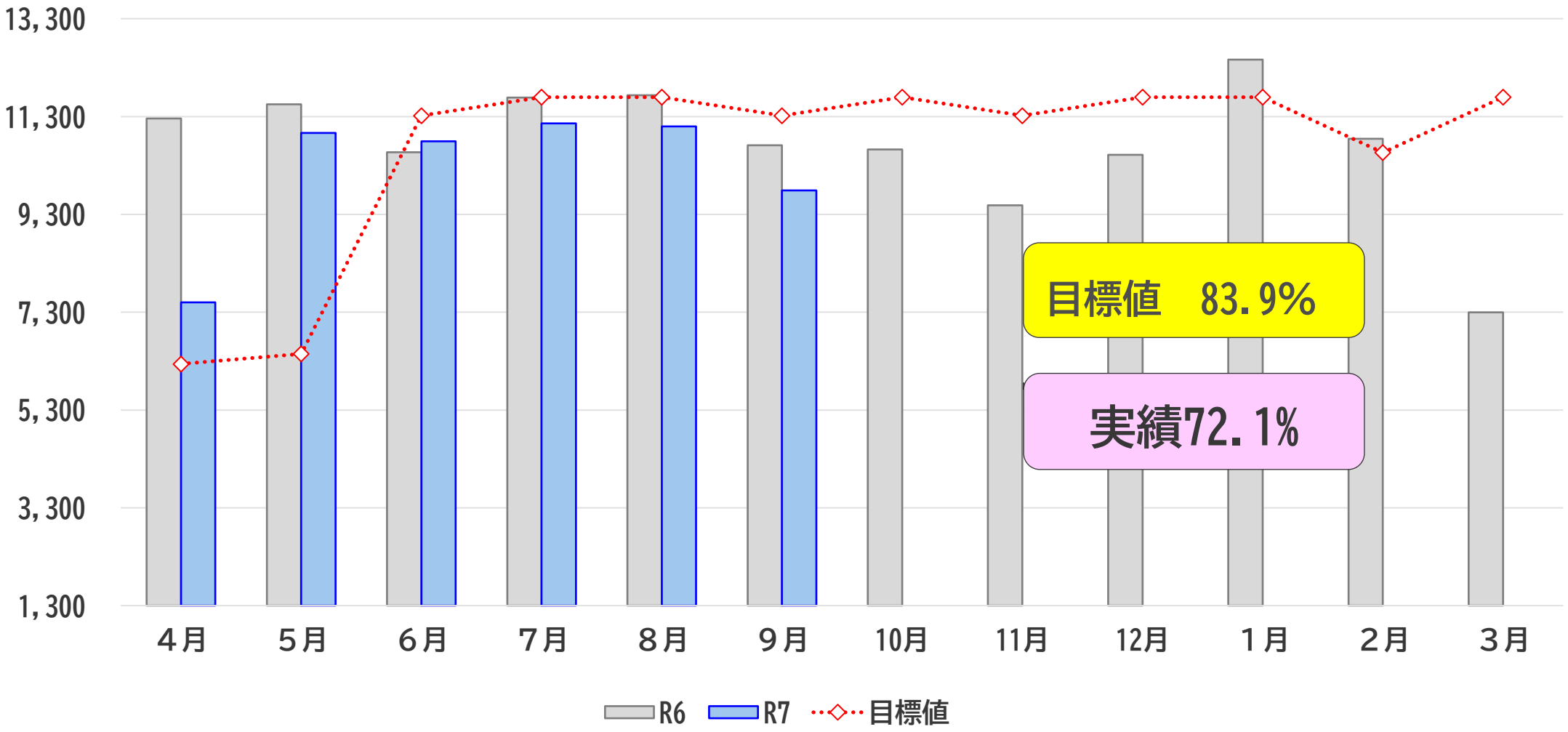
機能分担と連携の効果

統合の効果

提供する医療の高度化

# （３）センターの入院患者数

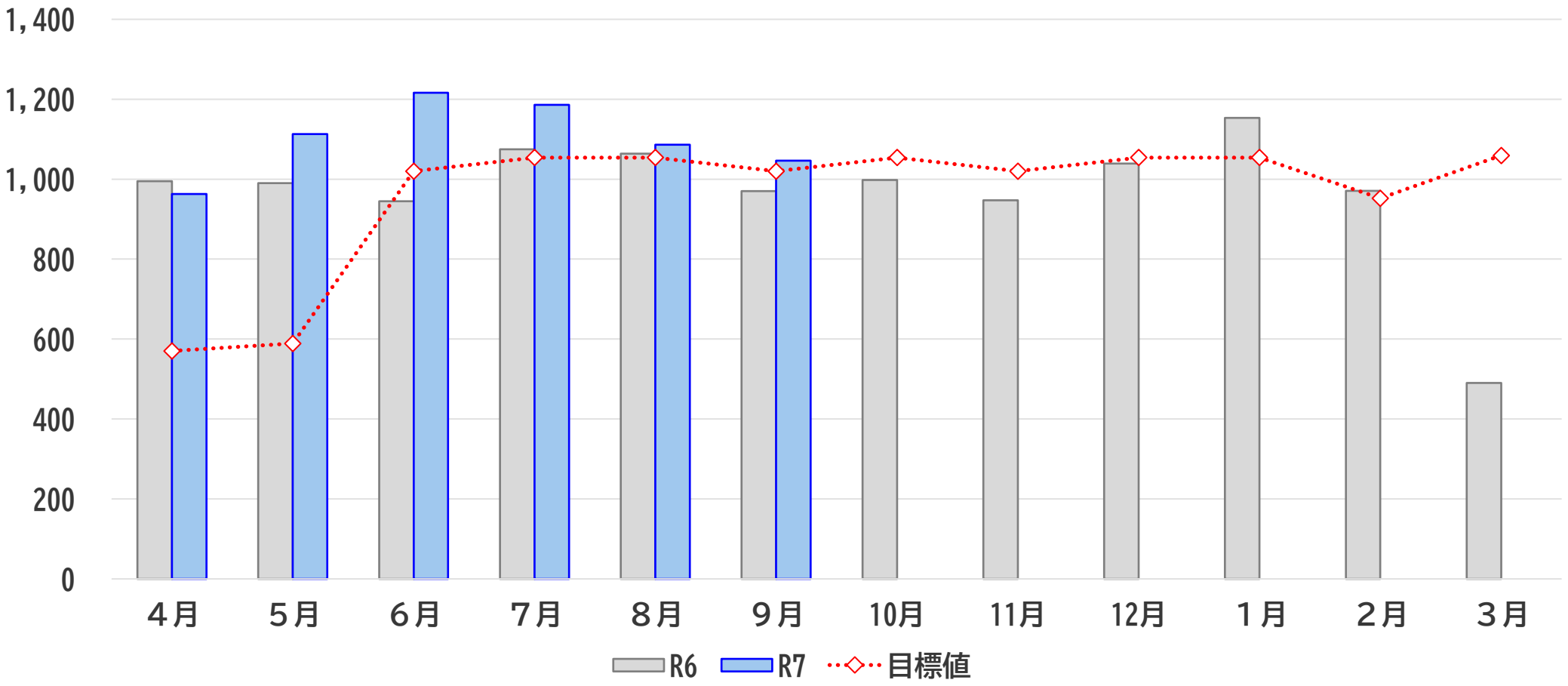





延べ患者数は前年度割れ

# （４）センターの新規入院患者数

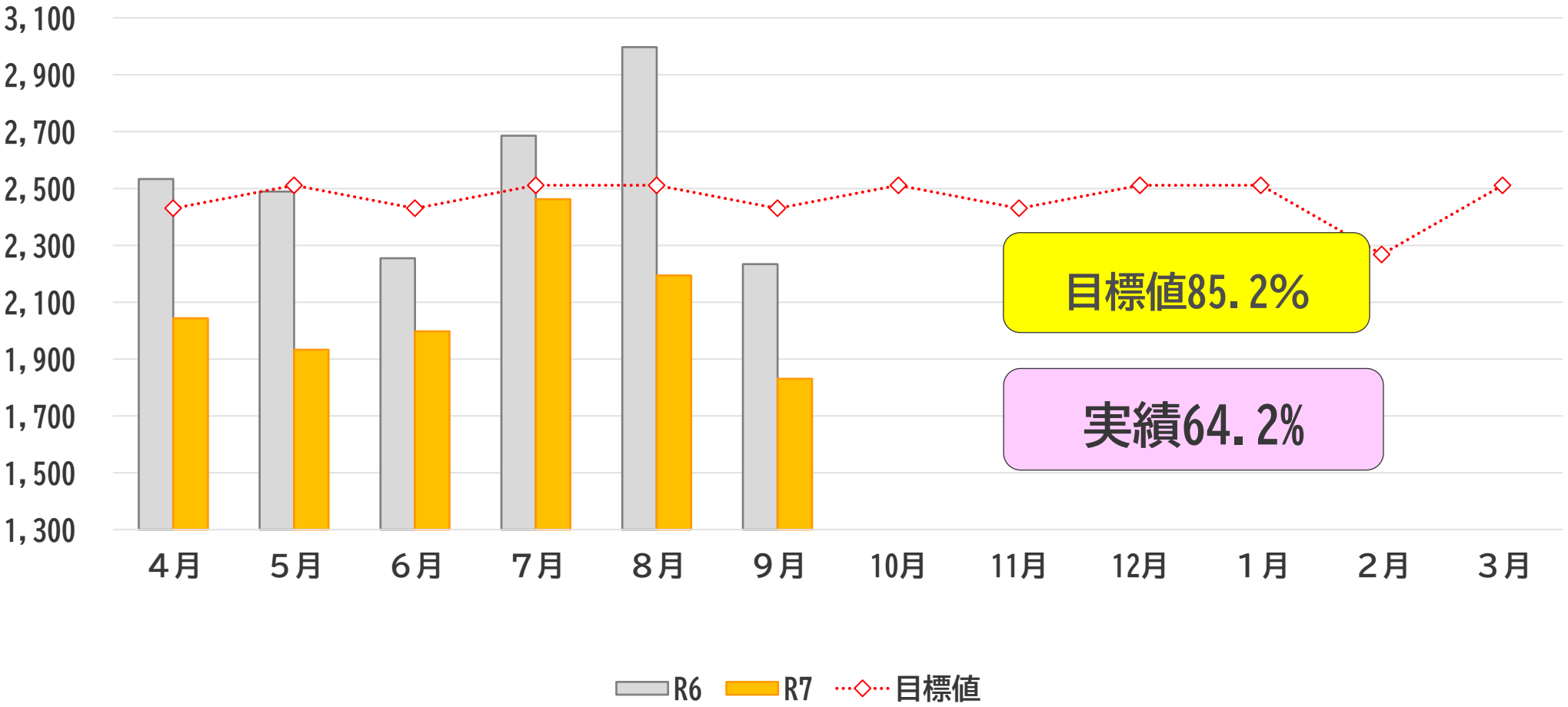
地方独立行政法人
知多半島総合医療機構




新規入院患者は前年を上回り、目標を達成。

# （５）りんくう病院の入院患者数（急性期）

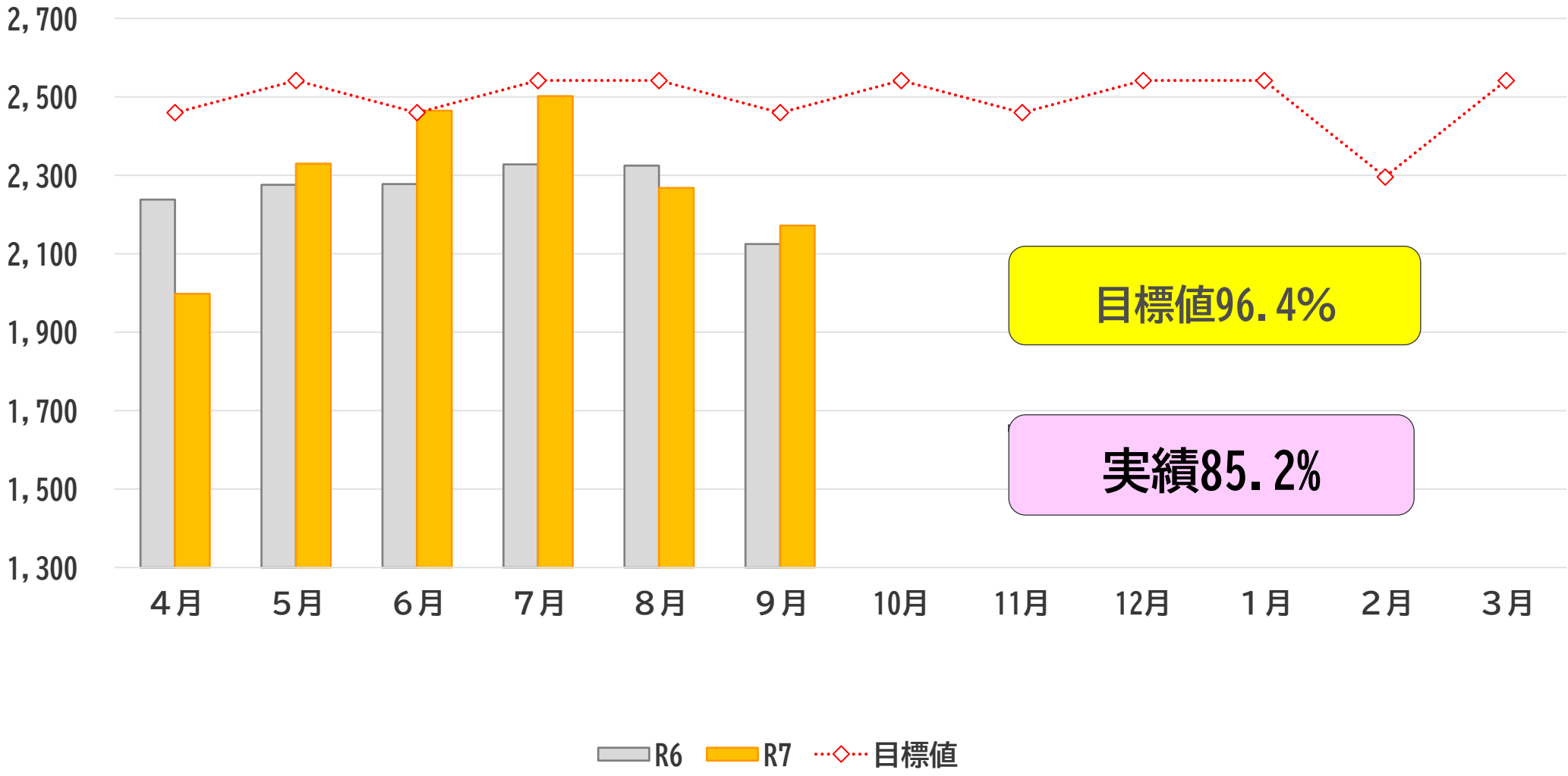





救急の縮小、紹介患者の一元化で想定以上に減少

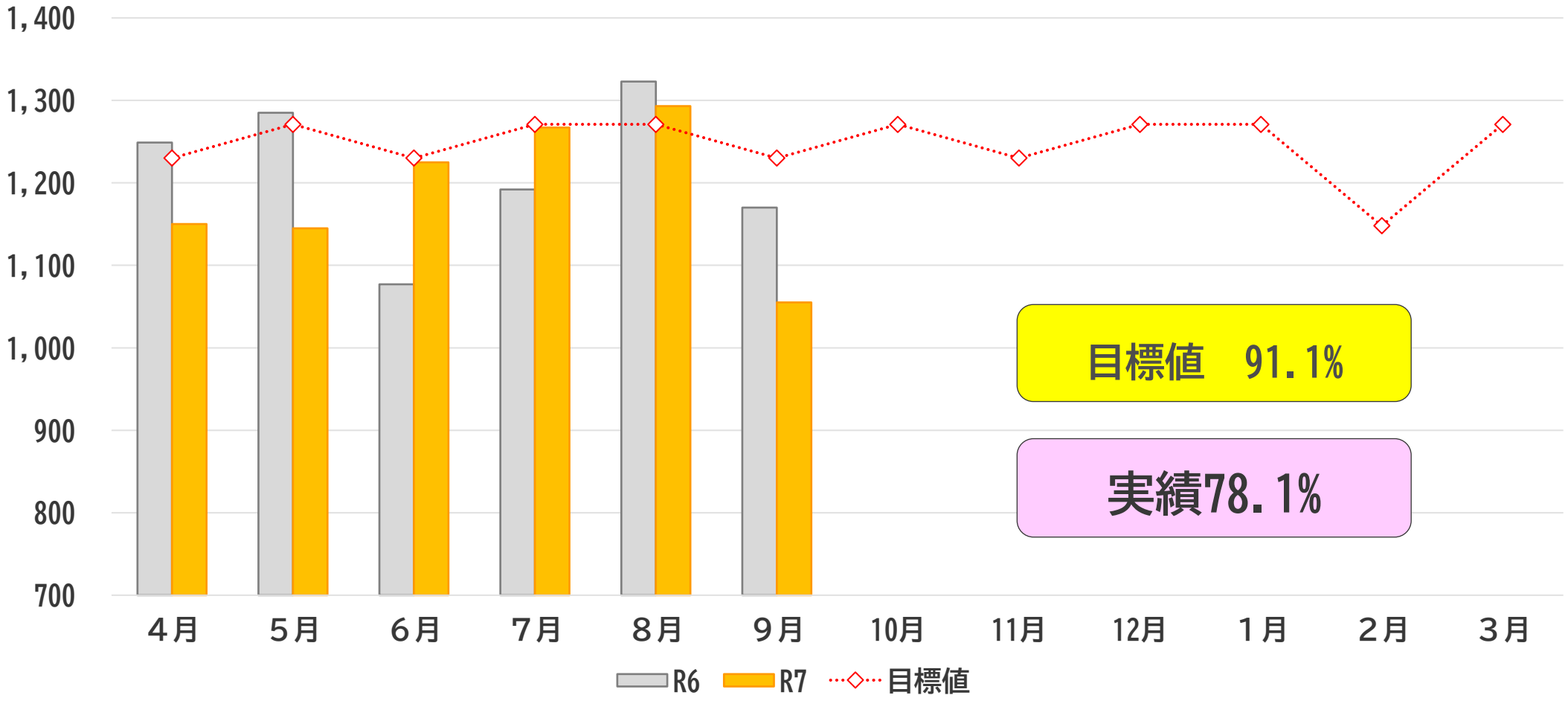
# （６）りんくう病院の入院患者数（回復期）

地方独立行政法人
知多半島総合医療機構



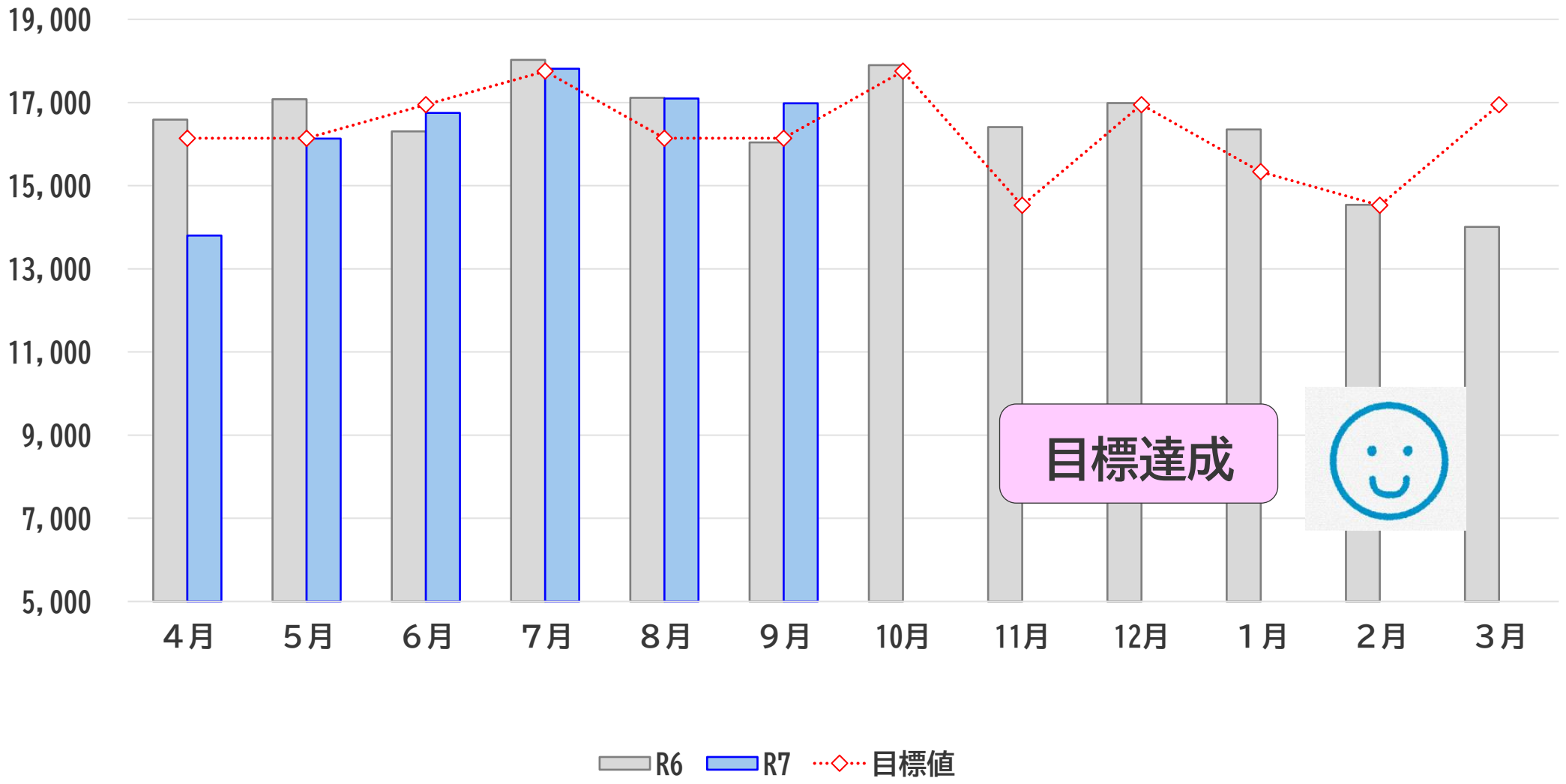
# （７）りんくう病院の入院患者数（地ケア）





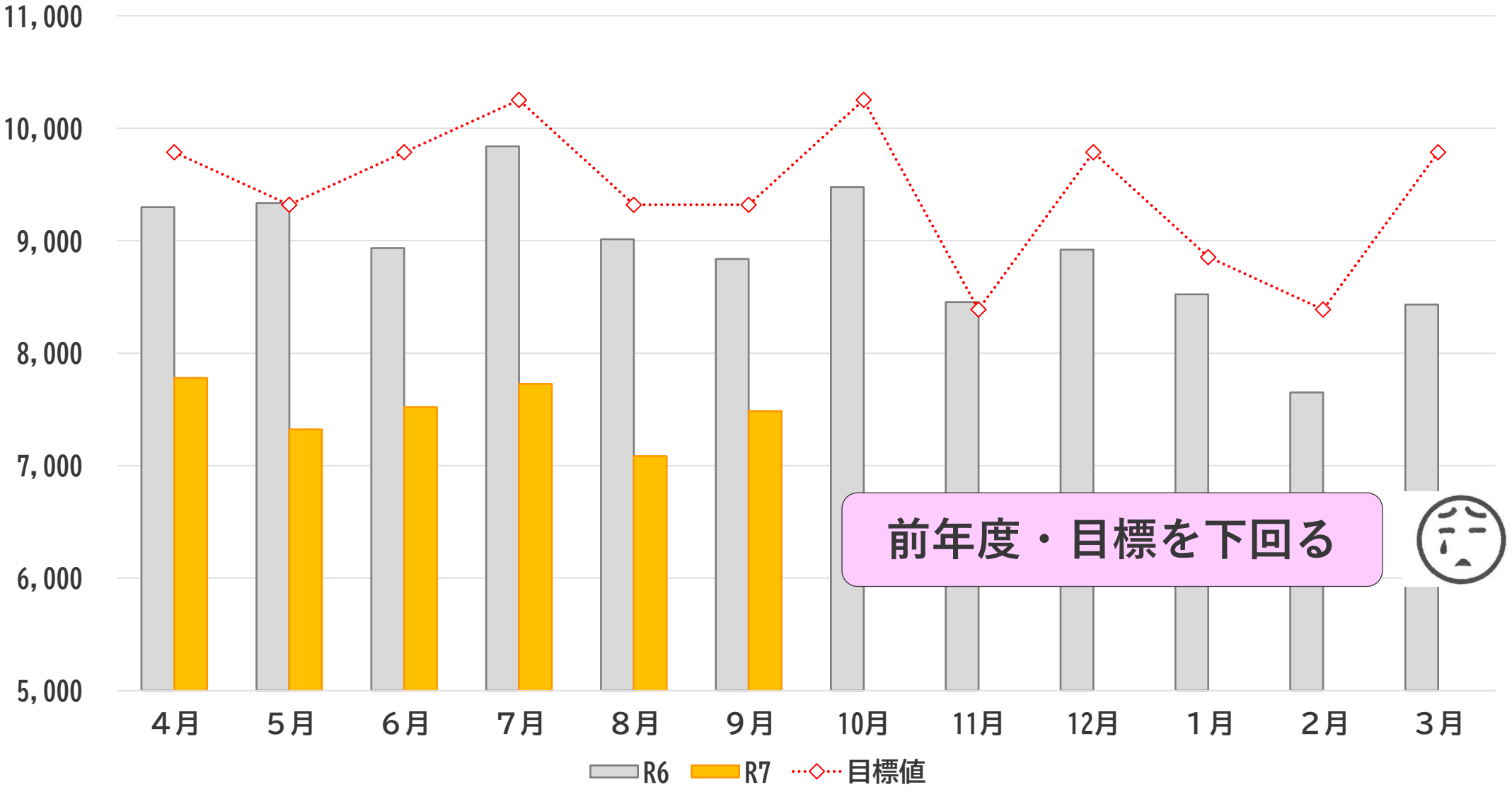
# （参考）センターの外来患者数





# （参考）りんくう病院の外来患者数

地方独立行政法人
知多半島総合医療機構



# ２．医療サービスの目標達成状況



## ■総合医療センター

（１）救急車搬送患者数と応需率

（２）分娩件数・NICU患者数

（３）放射線治療件数

## ■りんくう病院

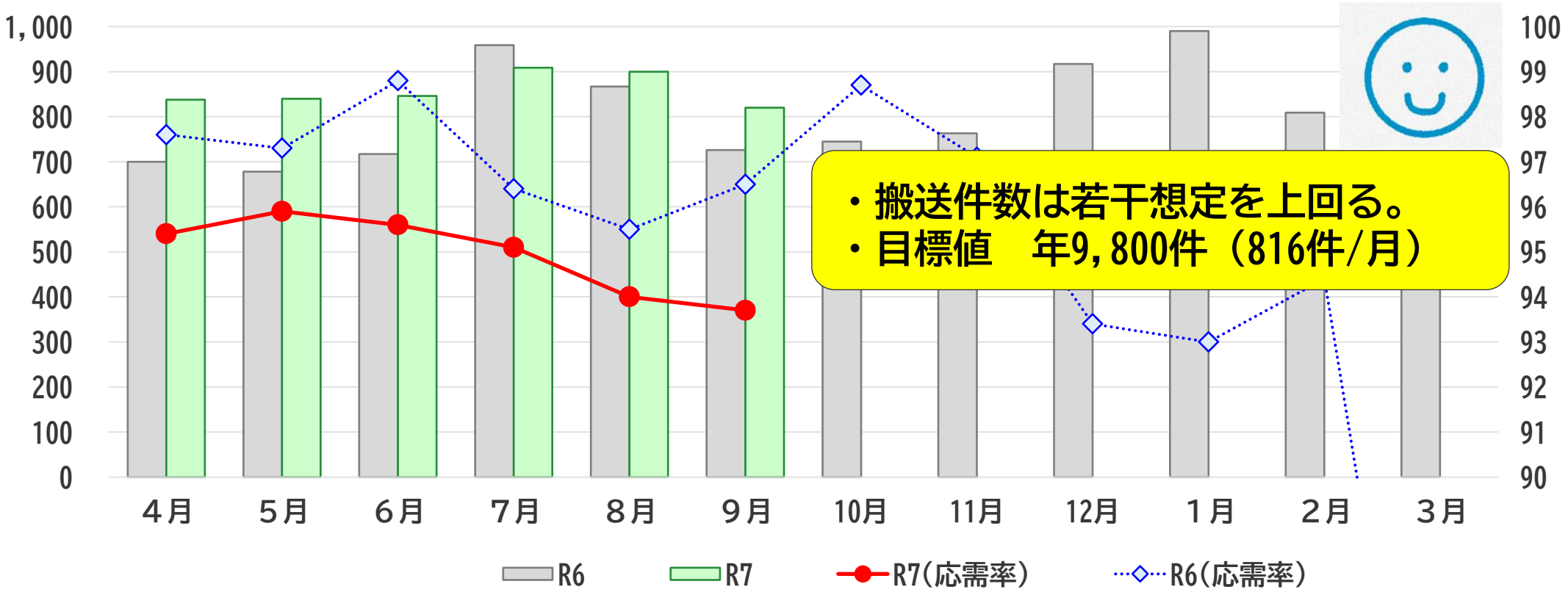
（４）人工授精件数・採卵件数・胚移植件数

## □機構全体

（５）紹介件数・逆紹介件数・訪問看護件数

# （１）救急車搬送患者数と応需率

地方独立行政法人
知多半島総合医療機構




・搬送件数は若干想定を上回る。
・目標値　年9,800件（816件/月）

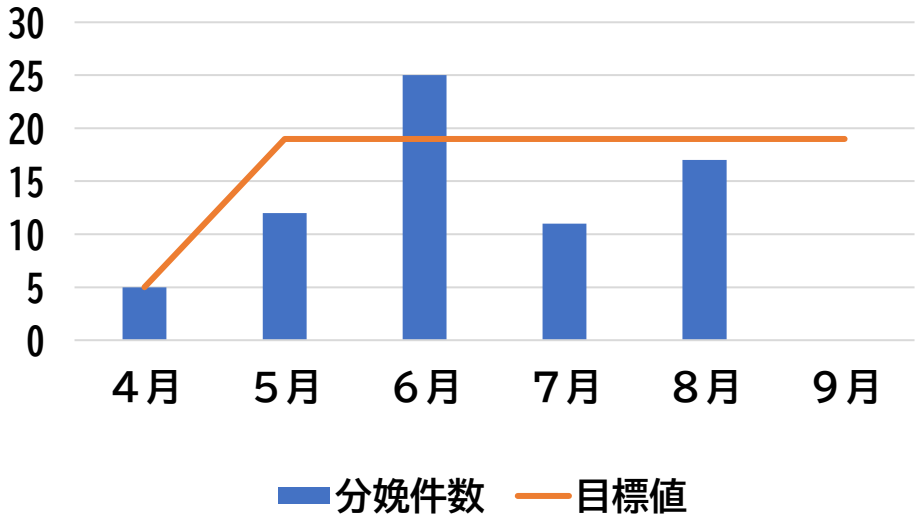
| | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 |
|---|---|---|---|---|---|
| 救急応需率 | 97.5% | 95.1% | 94.2% | 95.9% | 94.8% |

# （２）分娩件数・NICU患者数

地方独立行政法人
知多半島総合医療機構

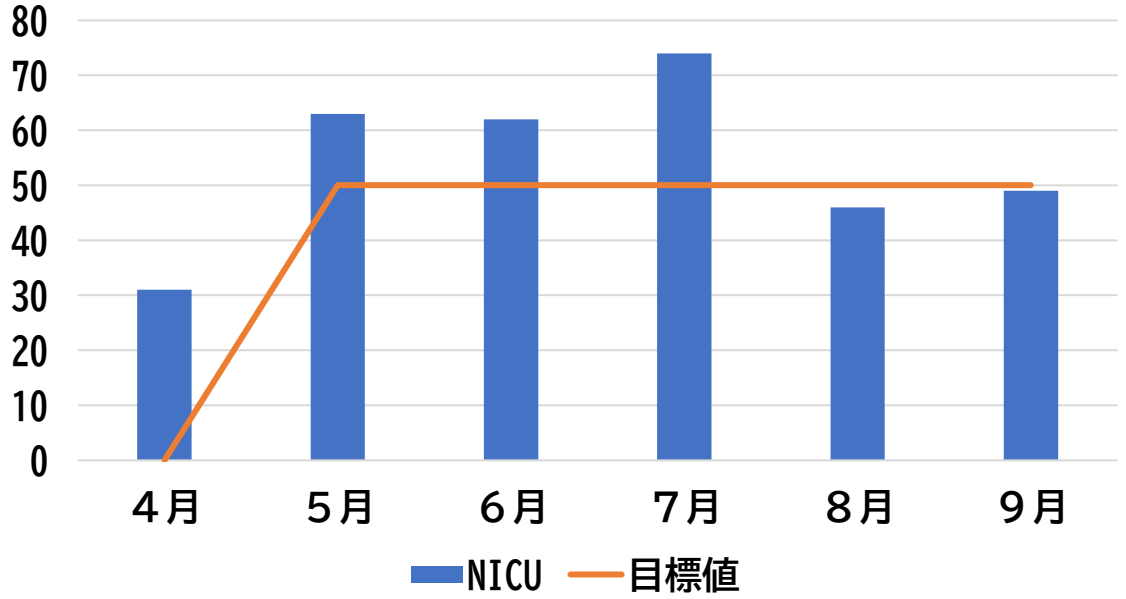
## 月別分娩件数

目標値　210件/年




目標値　550件/年

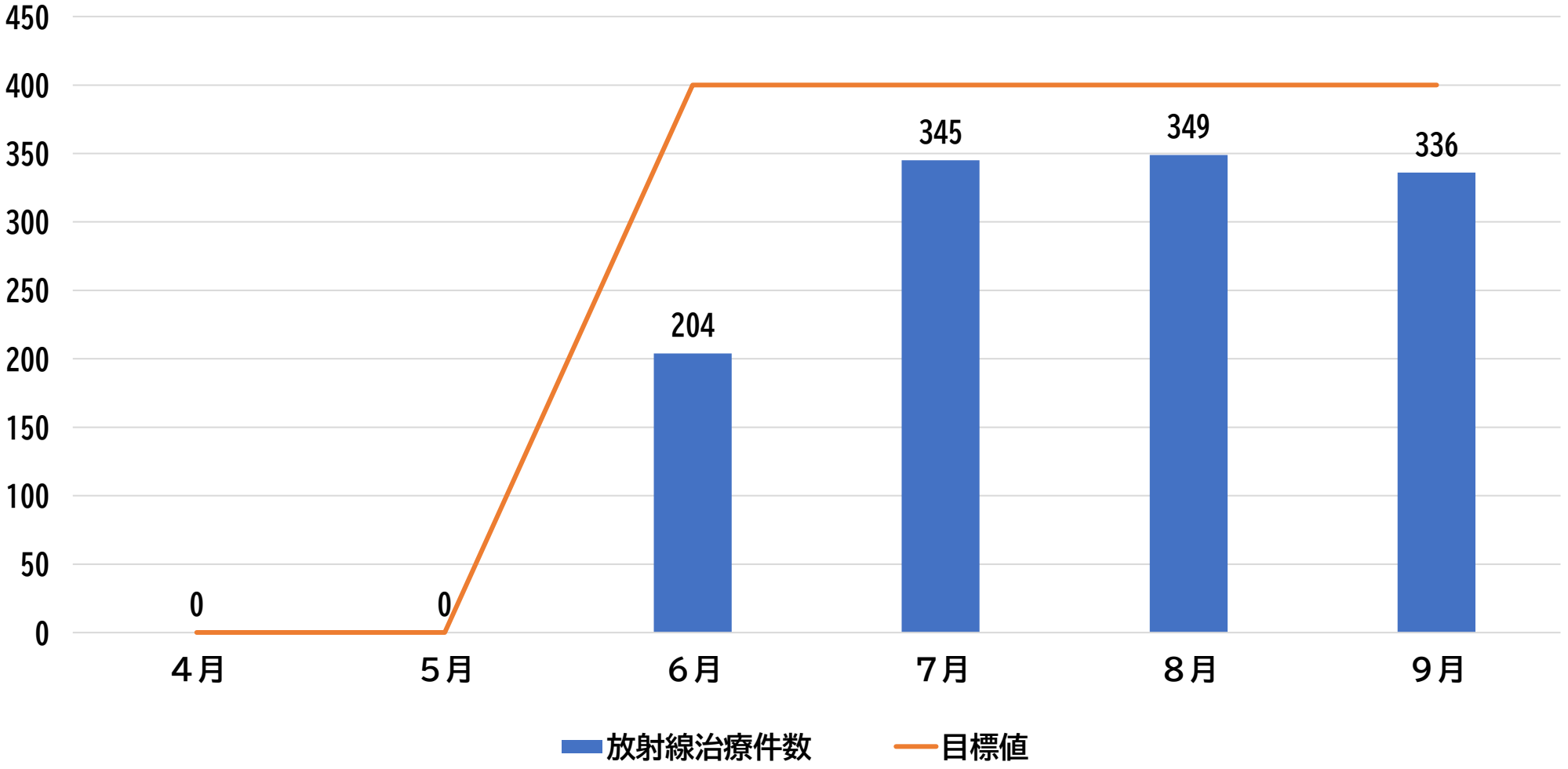
## 月別NICU患者数



# （３）放射線治療件数



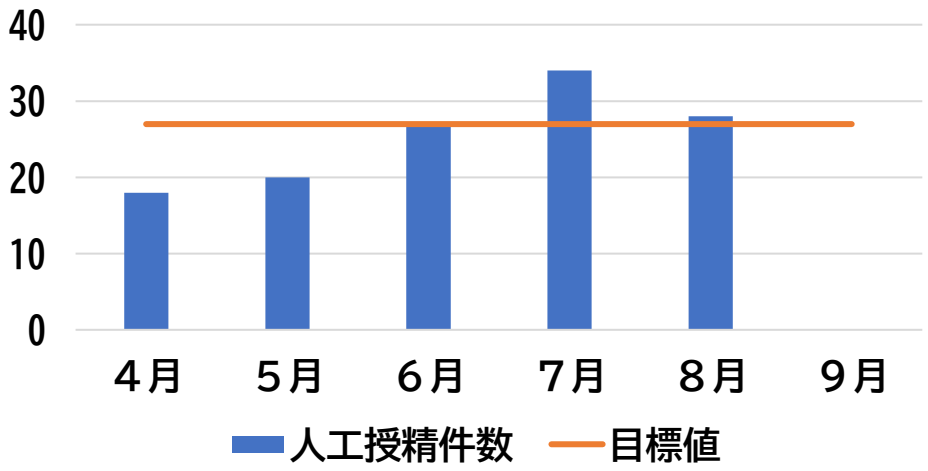
目標値　4,000件/年



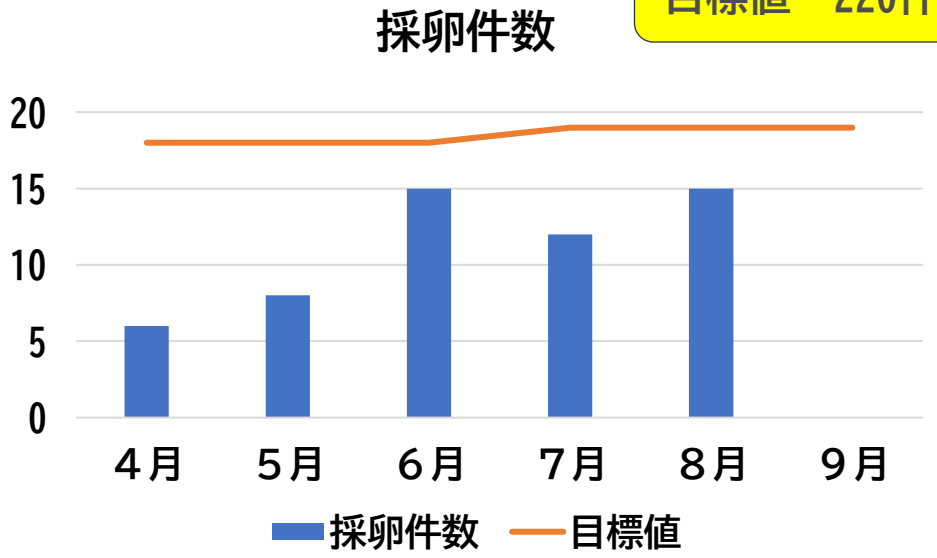
# （４）人工授精件数・採卵件数・胚移植件数

地方独立行政法人
知多半島総合医療機構

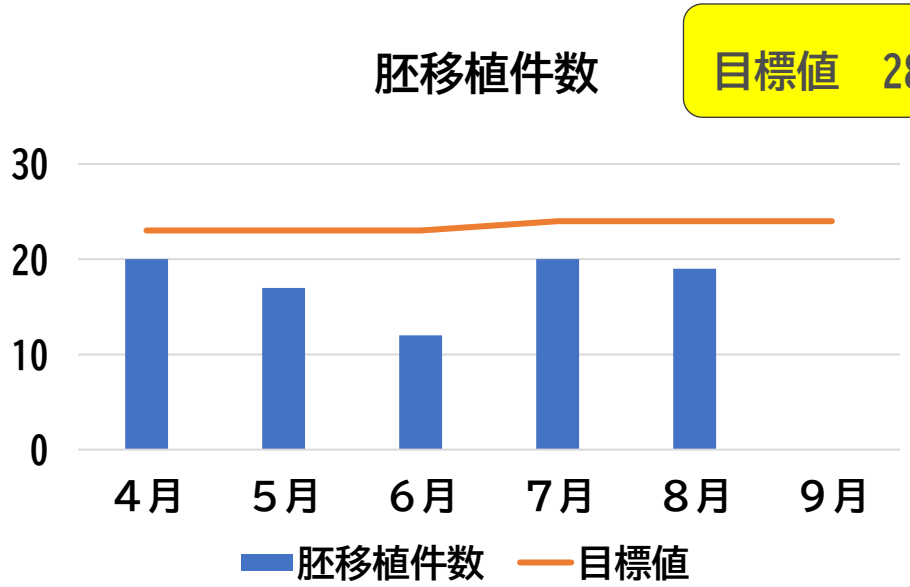
目標値　330件/年




目標値　220件/年




目標値　280件/年

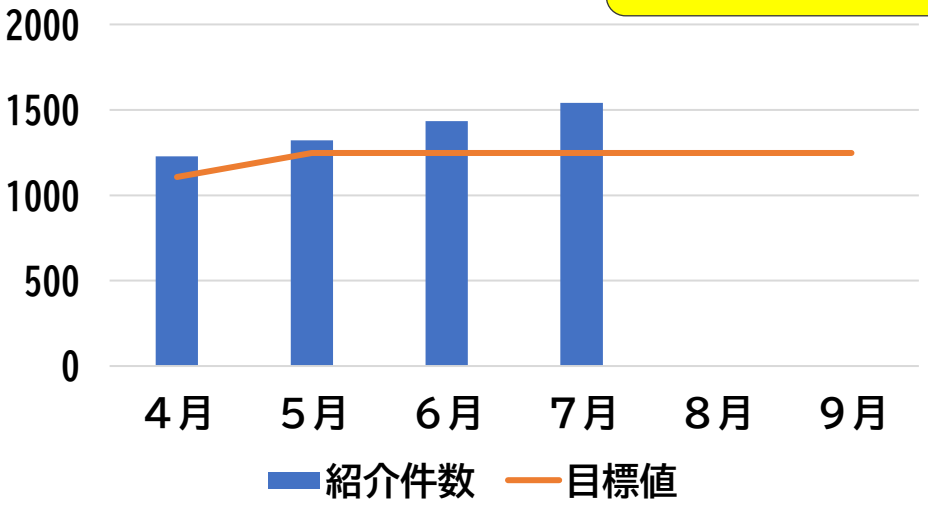


# （５）紹介件数・逆紹介件数・訪問看護件数

地方独立行政法人
知多半島総合医療機構

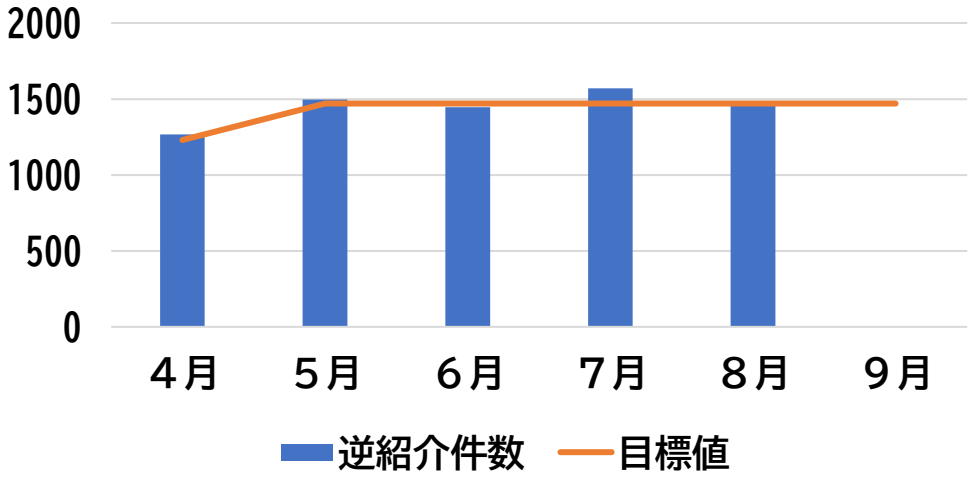
## 紹介件数

目標値　14,800件/年



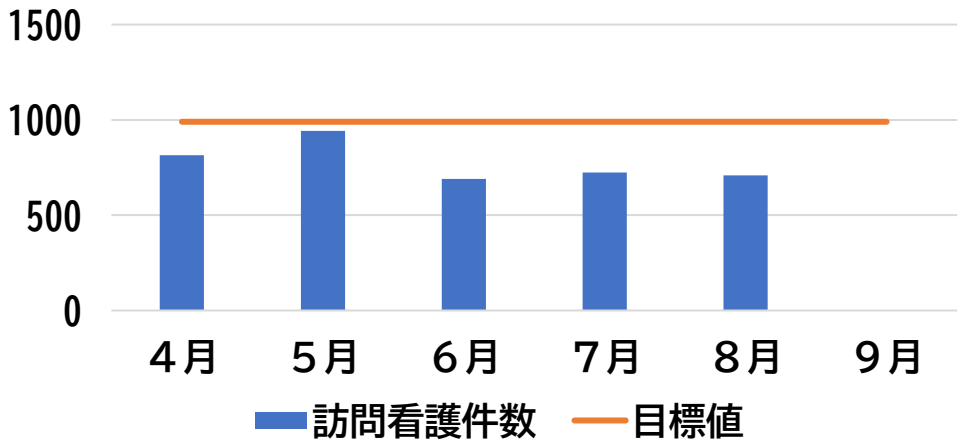

## 逆紹介件数

目標値　17,400件/年




## 訪問看護件数

目標値　11,900件/年



# ３．月別経営状況



## ■総合医療センター

（１）月別収支状況（４～９月）

## ■りんくう病院

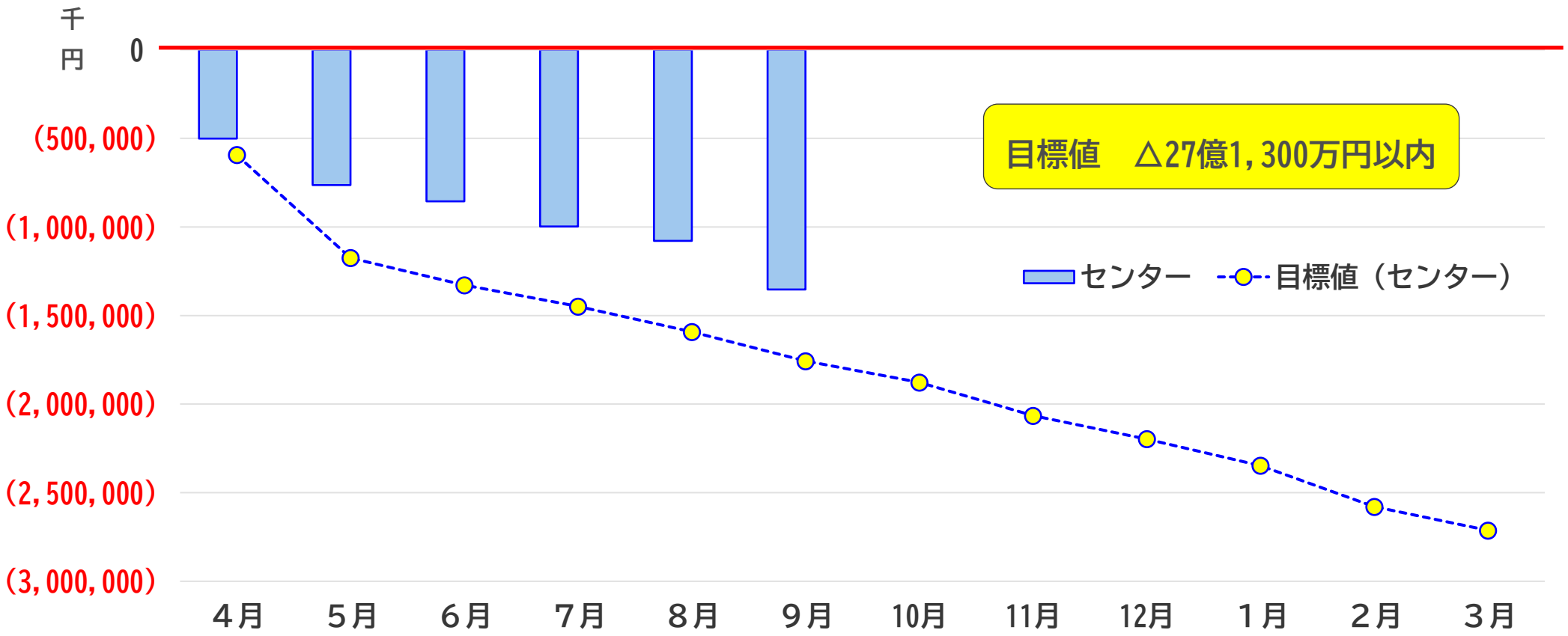
（２）月別収支状況（４～９月）

□機構全体

（３）月別収支状況（４～９月）

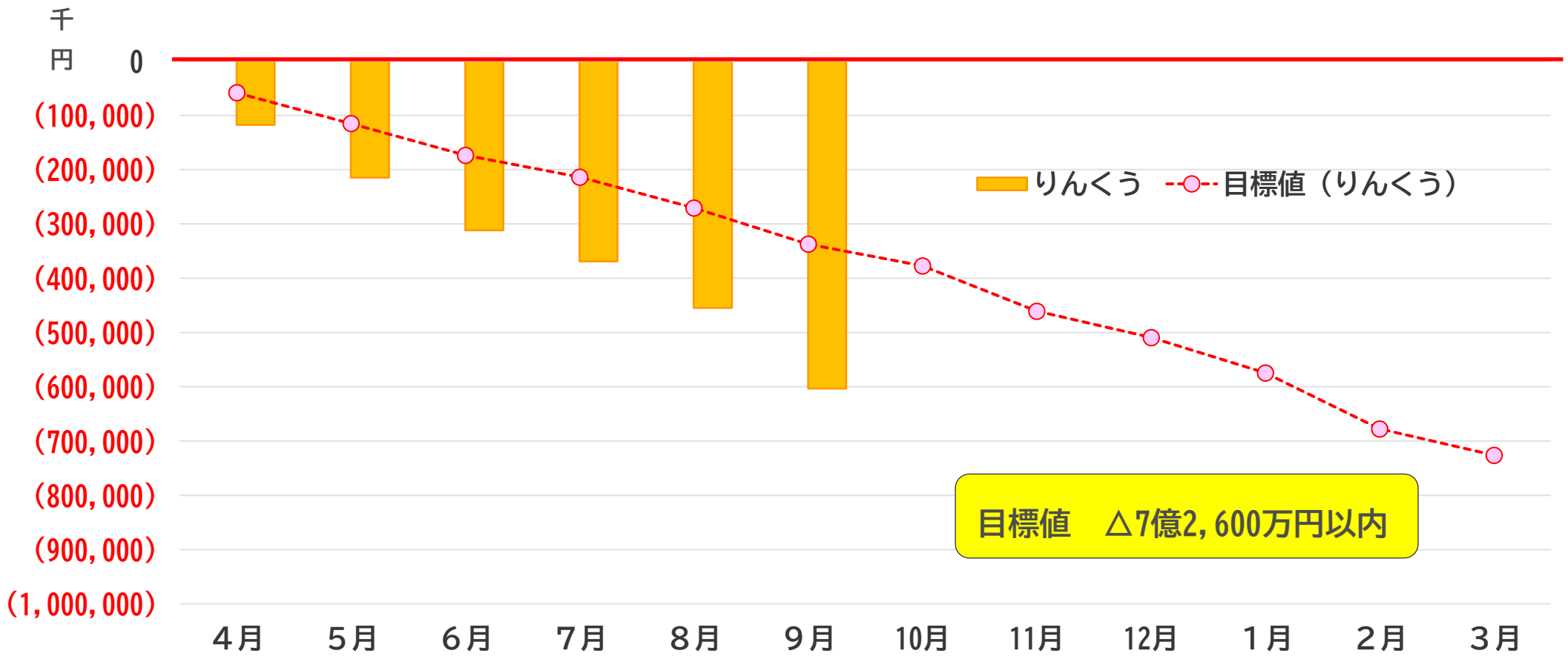
# （１）センター経営状況

地方独立行政法人
知多半島総合医療機構



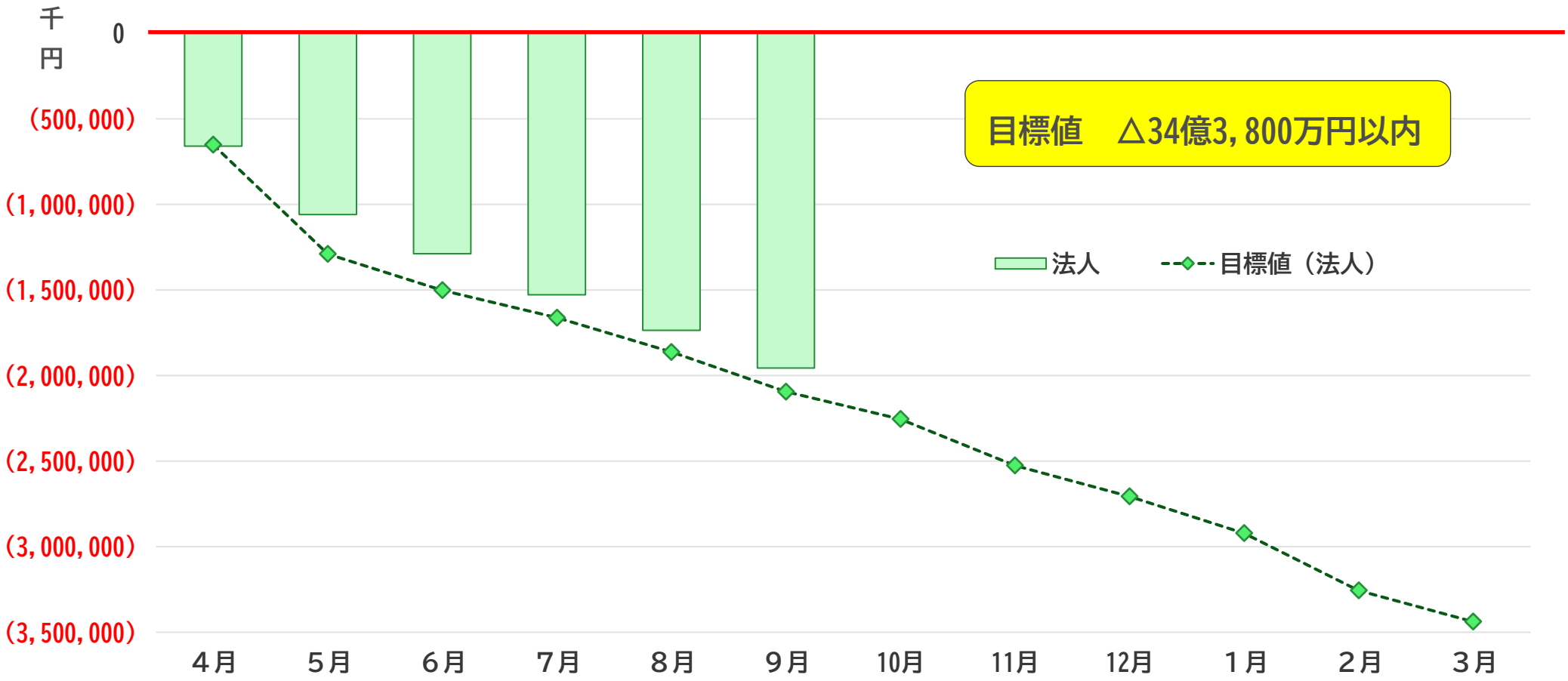
# （２）りんくう病院経営状況

地方独立行政法人
知多半島総合医療機構



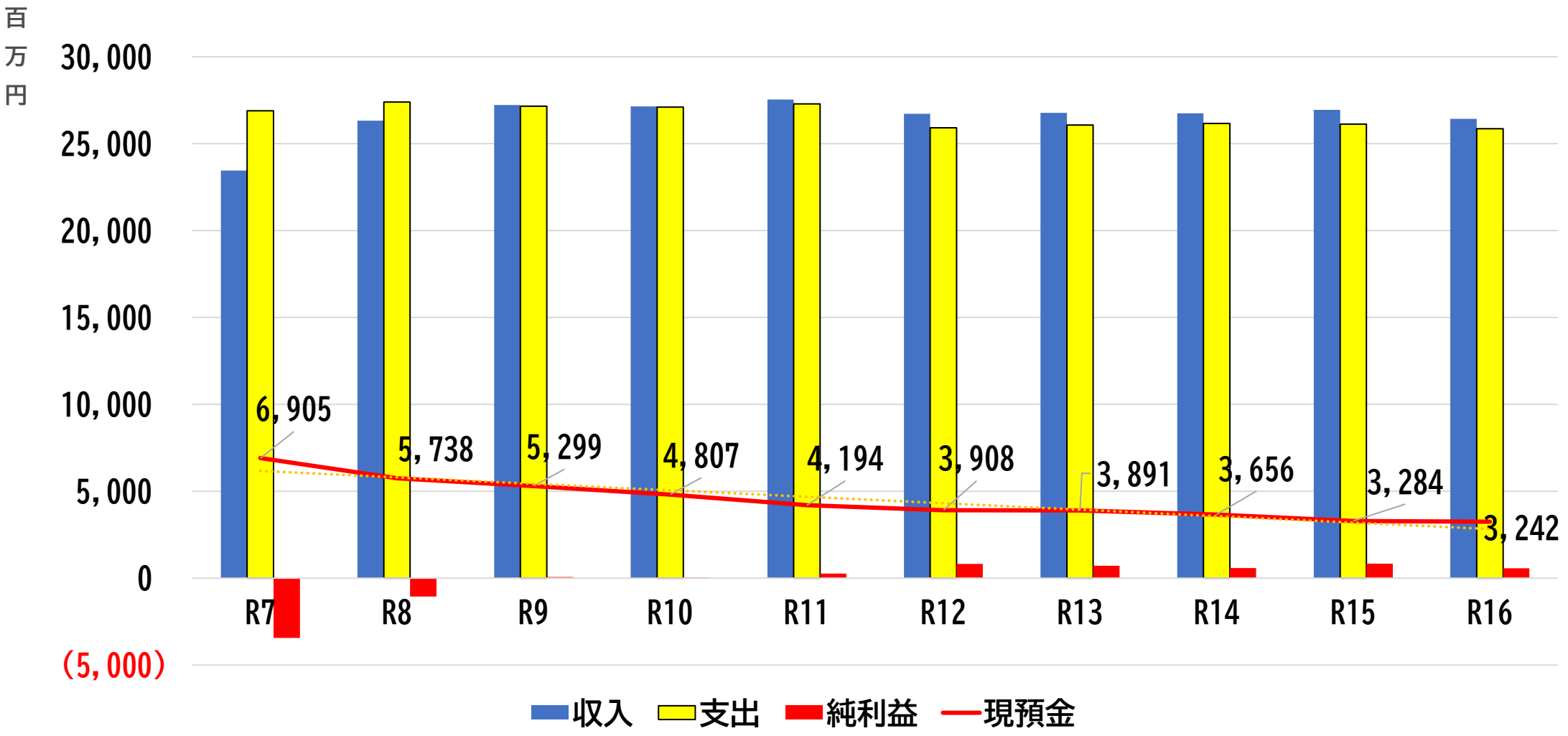
# （３）機構全体収支状況

地方独立行政法人
知多半島総合医療機構



# 4．10年間の収支シミュレーション

地方独立行政法人
知多半島総合医療機構



# 5．経営改善の更なる取り組み

地方独立行政法人
知多半島総合医療機構

■総合医療センター　新規予定入院患者の増加

（民間病院・開業医への訪問活動）

■りんくう病院　医療ニーズに応じた病床編成の見直し

回復期・地ケア病棟の稼働率向上

外来機能のあり方・存続検討

□機構全体　適正な人員配置、委託料・材料費の経費削減

手術室の効率的な運用

病院機能・規模に見合った医師の確保

# 6．施設・運用の課題



■総合医療センター

長い待ち時間

渋滞・駐車場不足

案内看板が少ない

バスに乗れない